

## 令和6年度 学校評価に関する分析と考察

### 【分析方法】

4件法（A：達成，B：ほぼ達成，C：あまり達成されていない，D：達成されていない）でアンケートを実施した。項目の回答数の割合を算出するとともに，学校経営努力点に関しては，参考としてAから順に4点，3点，2点，1点と得点化し，それぞれ平均値を算出した。保護者アンケートについて前年度から改善された項目などを把握するため，年次比較も合わせて行う。回収率は，職員が100%（26回答/26対象），保護者が96%（54回収/56配布）であった。

### 【分析と考察】

#### Ⅰ 学校経営努力点に関する内容

##### (1) 結果の概要

平均値が3.0を超える評価を得ている項目が多数を占めている。

昨年度から0.4ポイント以上の変動が見られた項目は以下のとおり

(3)イ研究に関する項目（-0.4）。(5)ウ業務の効率化に関する項目（+0.4）

##### (2) 結果の考察等

#### ア 「個別の指導計画」について【学校評価項目：(1)ア 結果：R6(2.8)R5(2.9)】

教育内容を評価する様式による新書式への変更や新しい様式についての考え方や取組方の共有を図ることができた。現段階では，旧書式と新書式が混在している状況ではある。

新書式を実際に活用して課題点を見付けたり，業務量や授業への活用の変化を確認したりする必要がある。さらに，題材・単元終了時に個別の指導計画の評価が実施できているかの確認も行う必要もあると考える。

#### イ 「授業研究」について【学校評価項目：(1)イ 結果：R6(3.3)R5(3.4)】

結果が3.3であるものの授業研究会の実施回数については，学部間で差が見られた。No会議デーの設定により，特設の時間設定は行われなくなった。本校が培ってきた授業研究の文化の良さを実感している職員は多いが，行事等の直前という忙しい時期に授業研究会が行われたなど実施方法への課題を感じている職員もいる。

授業研究の意義や具体的な取組方などを年度当初に確認する機会を設けた上で，No会議デーを中心に授業研究会を実施する必要もあると考える。また，No会議デーのみでなく学部の実情に応じて実施時期を工夫し計画的に実施し，その上で，主体的な教師の学びに授業研究が貢献しているのかどうかを確認する必要もあると考える。

#### ウ 「GIGAスクール構想」について【学校評価項目：(1)ウ 結果：R6(2.8)R5(3.0)】

ICTを活用した教科指導等は実践しているが，その情報を蓄積したり，共通認識を行ったりするまでは至っていない。

来年度は，ハード面の充実が予定されている。教科指導の目的を達成するICT活用について学部会の中で話題にして，共通認識をする必要もあると考える。

#### エ 「危機管理マニュアル」について【学校評価項目：(2)イ 結果：R6(3.3)R5(3.2)】

係が中心となって必要な情報等を冊子にまとめることで，学部で活用できつつある。実際に計画作成などの業務量の削減につながったり，緊急時に落ち着いて対応することができたりするなど成果も見られている。

危機管理マニュアルを活用しながらも，校外学習等の実際の計画に照らし合わせながら計画する必要もあると考える。

オ 「学校研究」について【学校評価項目：(3)イ 結果：R6(3.0)R5(3.4)】

3年研究の1年目である今年度は、現状把握に重点的に取り組んできている。2年研究に取り組んできた本校としては初めての取組であり、方針に係る認識の差異が前年度に比べ評価が下がった要因の一つであると思われる。

研究主題や研究目的を明らかにして、見通しをもって取り組む必要もあると考える。

カ 「教育実習」について【学校評価項目：(4)ア 結果：R6(3.3)R5(3.4)】

校舎改修に伴い、日程や場所など変化があった中での実施であった。慢性的に夏休み明け1か月程実習期間が続いている現状もある。

今年度教育実習のアンケートを基に、改善の方向性を考えていく必要もあると考える。指導案の書式については、本校のスタンダードを実習部だけではなく、学校全体で検討する場の設定を行う必要もあると考える。

キ 「会議の精選」について【学校評価項目：(5)ウ 結果：R6(2.8)R5(2.4)】

今年度も平均点で3.0を下回っているが、前年度より平均点が0.4上昇している。No会議デーの設定や時間を意識して会議を行うなどの取組により、会議が精選されていると実感している職員が多くなってきている。

会議の終了時刻を確認した上で会議を実施したり、提案する資料を工夫し、協議する内容を焦点化できたりする必要があると考える。終礼については、基本的に伝達のみとし、意見や確認は聞く時間を設定しないようにして、終了時間を遵守できるようにする必要もあると考える。

ク 「情報発信」について【学校評価項目：(5)イ 結果：R6(2.9)R5(2.8)】

学校見学会や体験学習等の行事を実施している。ホームページの更新は盛んに行われているとは言えない。

ホームページに掲載する情報を学部ごとに確認や見直しを行い、行事等が終わったら速やかにホームページに掲載することができるよう、掲載予定の行事等では、計画時点で業務として記入する必要があると考える。児童生徒募集等の情報を大学のホームページにも掲載していただけるように依頼する必要もあると考える。

## 2 校務分掌に関する内容

### (1) 結果の概要

全ての分掌の評価が平均値3.0を超える評価を得ることができていた。

### (2) 結果の考察等

#### ア 総務部

各種データの所在を明確にしたり、委員会等の報告を共有したりする必要があると考える。

#### イ 教育実習部

学校経営努力点とも関連するが、10日間の実習の中で教職の魅力を感じることができるとような実習の在り方を引き続き模索する必要があると考える。

#### ウ 支援部

学校経営努力点とも関連するが、個別の指導計画の推進や評価について中心的な役割を果たす必要がある。今年度取組方法を変更した関係機関との情報連携について、基本的な考え方や手続き等について学校全体で確認できる機会を設定する必要があると考える。

#### エ 進路指導部

週休日等に実施される卒業生クラブや同窓会の実施について、意義や目的を踏まえた上での在り方について検討する必要があると考える。

オ 生徒指導部

委員会活動について、ほぼ毎朝行われる現状に児童生徒の実態が合わない実情が見られるため、意義や目的に照らし合わせながら、実施方法の改善について検討をする必要があると考える。

カ 保健指導部

環境整備について、校務分掌で企画運営する以上の作業量があり、マンパワーに頼らざるを得ない状況が続いている。考え方や実施方法を検討する必要があると考える。

キ 渉外部

学校努力点とも関連するが、ホームページを含めた情報発信の在り方を確認する必要があると考える。

ク その他

一心会・明伸会の運営について、効率的な業務の分担を行う必要があると考える。

### 3 学校全体、学部、個人に関する内容

(1) 結果の概要

学校全体、学部・学級、授業、個人といった観点の項目では、概ね平均値 3.0 を超える評価が得られている。評価が 3.0 を下回っている項目として、仕事の公平な分担と仕事の負担感であった。自由記述の中にも、学部間の職員経験年数等の偏りを指摘する意見も見られた。

(2) 結果の考察

本校の大きな特徴として、同僚性の高さを伝える方が多い。実際に同僚と共に伝え合う・共有するといった項目の評価は高い。新しく赴任された先生が少しでも何をすればいいのかわかるように、学部会で提案の依頼を行う際は、データの保管場所や昨年度の大まかな内容について情報を共有できる機会を設定する必要があると考える。

仕事の負担感については、その項目が校務分掌の仕事である場合は、学期末にある学部反省等で情報を集約し、学校評価でも伝えるように意識する必要があると考える。

業務改善については、学校経営努力点とも関連するが、教員の働き方に一定の改善が見られていることを実感している。本校が培ってきた大事にしたいことも明らかにしながら、業務改善を継続して取り組む必要があると考える。

### 4 保護者アンケートに関する内容

(1) 結果の概要

教育活動、教育環境、連携、その他といった観点の項目では、全て平均値 3.0 を超える評価が得られている。校舎改修に伴う、教育や学習への制限に関しても一定程度の理解を得られた上で取り組まれていたと思われる。

(2) 次年度に向けて

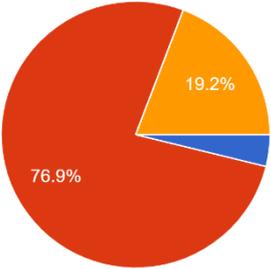
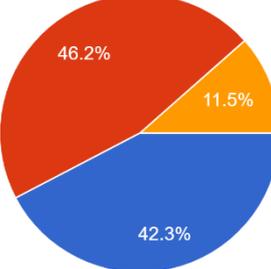
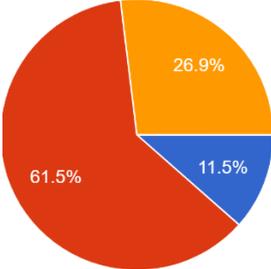
小学部が校舎改修の対象になるが、個別的な対応を必要とする場面や安全の確保といった教室環境等を配慮にいたした構造となっているのか考える必要があると思われる。

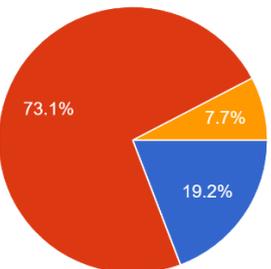
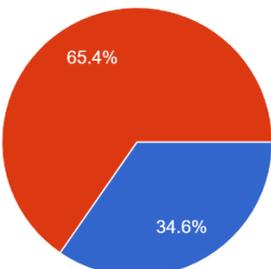
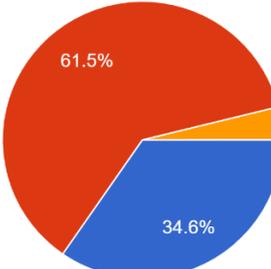
PTA 活動については、大幅な組織の変更を実施することになるが、組織改編によって活動の負担が軽減されたか確認する必要があると考える。

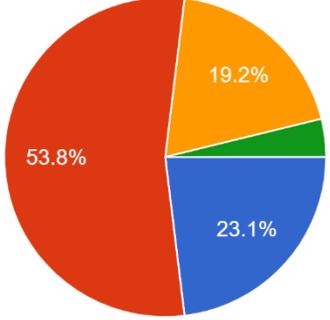
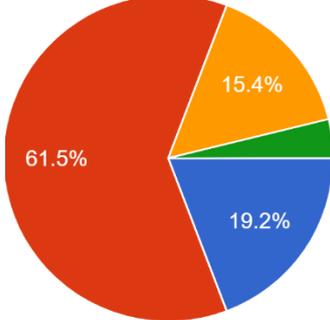
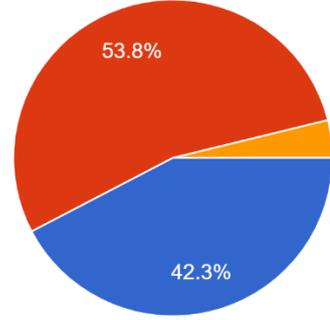
## 令和6年度 学校評価に関する結果

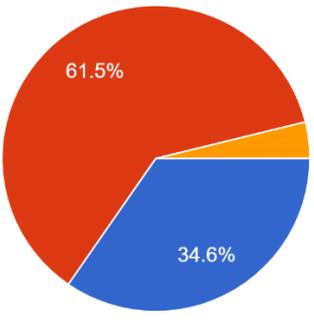
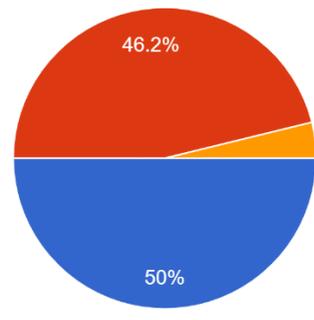
### I 学校経営努力点(回答数 26, 回収率 100%)

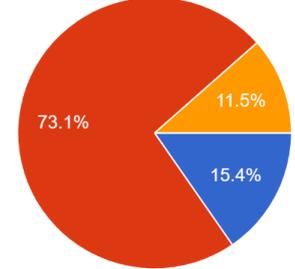
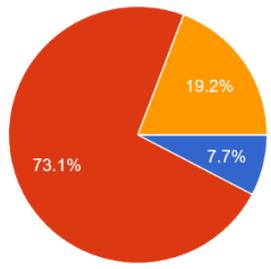
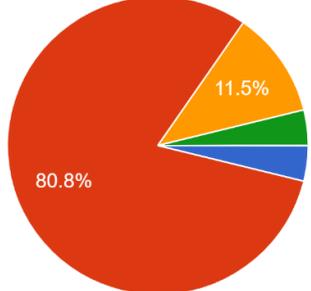
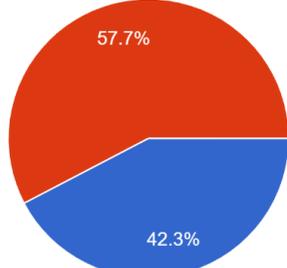
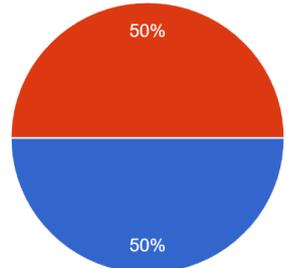
#### Ⅰ 評価結果 (数字は平均値)

(1)一人一人の教育的ニーズを的確に把握し、適切な指導や必要な支援を充実する。			● A：達成 ● B：ほぼ達成 ● C：あまり達成されていない ● D：達成されていない(未取組)
<p>ア PDCAサイクルに基づいた個別の教育支援計画及び個別の指導計画の効率的な作成及び活用の在り方を再確認し、事務作業の軽減に努める。</p>	<p>イ 授業研究の機会確保に努め、児童生徒一人一人の資質・能力の育成の視点による授業改善を行う。</p>	<p>ウ GIGAスクール構想に基づき、特別支援教育における教科指導等の目的や教育効果を踏まえたICT活用に努め、実践事例を蓄積する。</p>	
			
<p>今年度：2.8 前年度：2.9</p>	<p>今年度：3.3 前年度：3.4</p>	<p>今年度：2.8 前年度：3.0</p>	

(2)児童生徒の健康や校内外の安全を確保し、安全指導や生徒指導、保健指導を充実する。			● A：達成 ● B：ほぼ達成 ● C：あまり達成されていない ● D：達成されていない(未取組)
<p>ア 児童生徒の生命を守り育む視点に立ち、一人一人の実態に応じた安全指導や生徒指導、保健指導を徹底する。</p>	<p>イ 実用的な視点で継続的に危機管理マニュアルの更新を行い、感染症や事故、災害等に関する報告・連絡・相談・確認システムを徹底し、児童生徒の生命・健康を守るための迅速できめ細かな対応を行う。</p>	<p>ウ ヒヤリハット事案の共有や安全点検に基づいた教育環境の整備を行う。</p>	
			
<p>今年度：3.1 前年度：3.3</p>	<p>今年度：3.3 前年度：3.2</p>	<p>今年度：3.3 前年度：3.3</p>	

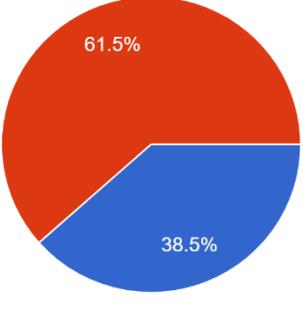
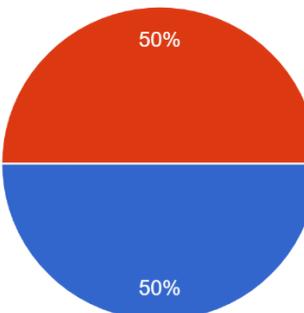
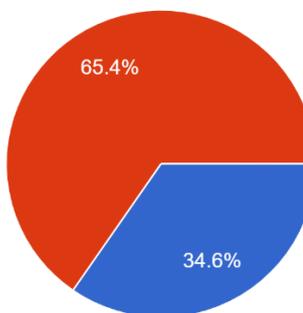
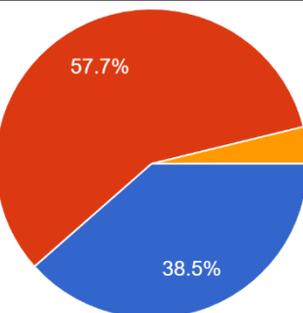
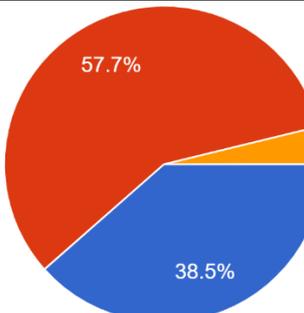
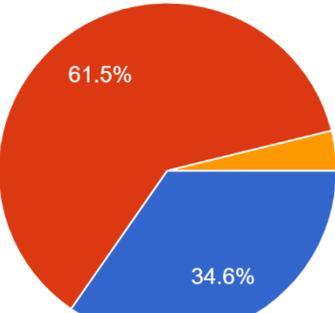
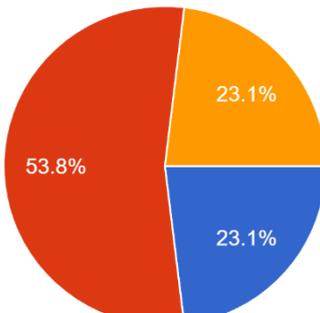
<b>(3)附属学校の役割や機能を生かし大学との共同研究を深め、専門性や資質の向上を図る。</b>		<b>● A：達成</b> <b>● B：ほぼ達成</b> <b>● C：あまり達成されていない</b> <b>● D：達成されていない(未取組)</b>
<b>ア</b> 大学・学部の特例支援教育，教科教育等の教員との共同研究や県教委，市教委及び県内外の特例支援教育関係者と連携した，還元性の高い実践的研究を推進する。	<b>イ</b> 研究主題に基づいた実践研究の推進と深化により特例支援教育に係る専門性を深めるとともに，協働態勢のもと教員相互に資質向上に努める。	<b>ウ</b> サービスに関する研修等を通して，一人一人がハラスメントやコンプライアンスへの意識を高め，信頼される学校づくりに継続して取り組む。
		
今年度：3. 0 前年度：3. 2	今年度：3. 0 前年度：3. 4	今年度：3. 4 前年度：3. 4

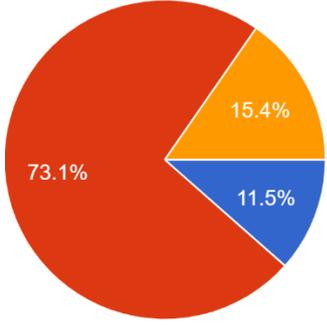
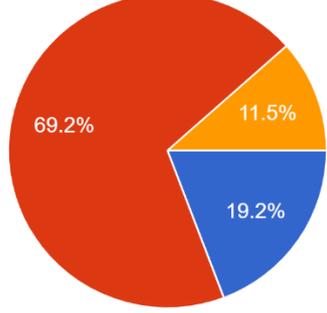
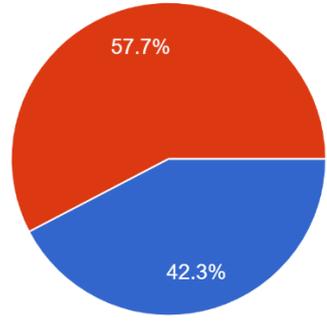
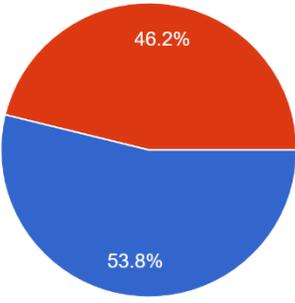
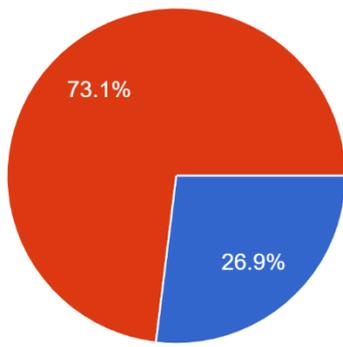
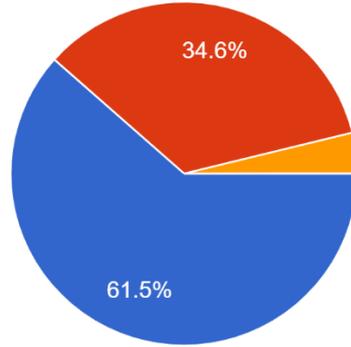
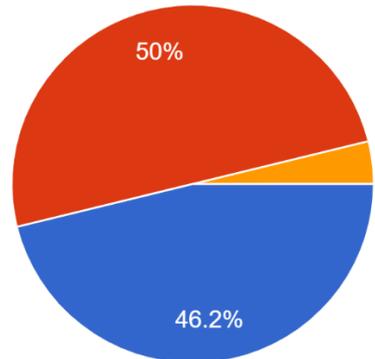
<b>(4)力量のある教員を養成するため，大学・学部と連携して教育実習等の一層の充実を図る。</b>		<b>● A：達成</b> <b>● B：ほぼ達成</b> <b>● C：あまり達成されていない</b> <b>● D：達成されていない(未取組)</b>
<b>ア</b> 大学の第4期中期計画と連動しながら教員養成に求められる実習生指導の重点を整理し，授業づくりや児童生徒への指導に関する実践力の養成及び指導教員としての指導力の向上に努める。	<b>イ</b> 介護等体験，高校免許取得者の実習，採用前実習等の企画・運営及び教職大学院の探究課題に基づく実践演習の充実を，全校態勢で進める。	
		
今年度：3. 3 前年度：3. 4	今年度：3. 5 前年度：3. 6	

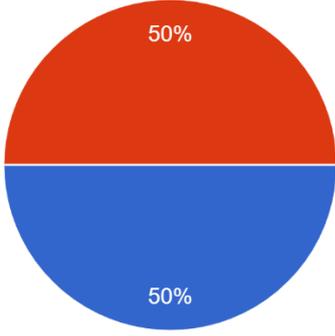
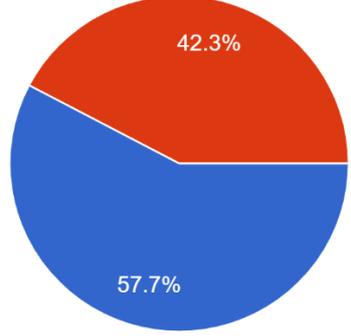
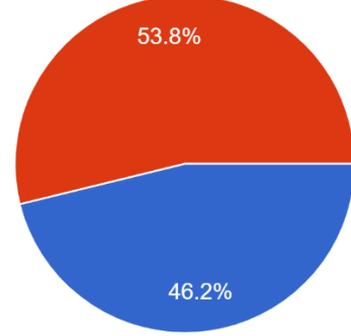
<b>(5) 児童生徒・保護者・地域と共にあり、責任を果たす開かれた学校の創造をめざす。</b>		● A：達成 ● B：ほぼ達成 ● C：あまり達成されていない ● D：達成されていない(未取組)
<b>ア</b> 児童生徒の学習環境の向上と附属学校としての責任を果たすため、施設設備、情報機器、教材・教具等の整備・充実を図る。	<b>イ</b> 学校見学会や体験学習、ホームページ、広報誌などを通じて本校の教育活動の魅力を広く発信するとともに、児童生徒の余暇活動の充実に向けた支援を行う。	
		
今年度：3.0 前年度：3.0	今年度：2.9 前年度：2.8	
<b>ウ</b> 従前の取組について、意義・価値や教育効果を確認し、積極的かつ迅速な取組の精選を推進するとともに、会議等の精選や会議時間の厳守により業務の効率化を図る。		
		
今年度：2.8 前年度：2.4		
<b>(6) 教育相談等の支援体制の充実を図り、センター的機能を果たすための支援を継続する。</b>		● A：達成 ● B：ほぼ達成 ● C：あまり達成されていない ● D：達成されていない(未取組)
<b>ア</b> 幼稚園、保育所、小・中・高等学校在籍の特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒のニーズに応じた支援を行うとともに、就学前教育相談の充実を図る。	<b>イ</b> 学部・附属学校園との連携を促進し、巡回相談や現職教員研修等を通して、附属学校園に在籍する児童生徒の多様な学びに応える特別支援教育の一層の推進を図る。	
		
今年度：3.4 前年度：3.5	今年度：3.5 前年度：3.4	

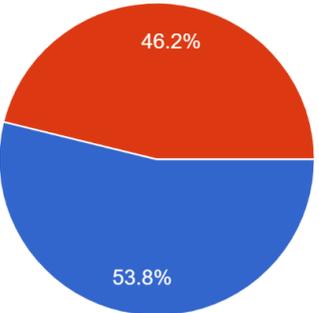
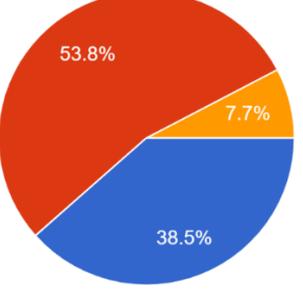
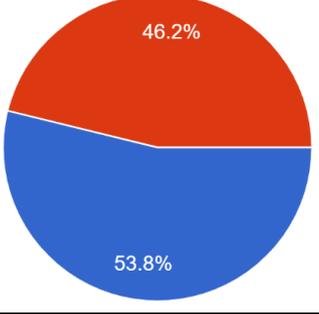
## II 校務分掌活動(回答数 26, 回収率 100%)

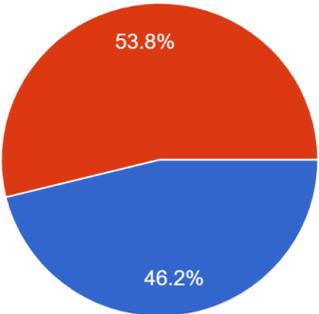
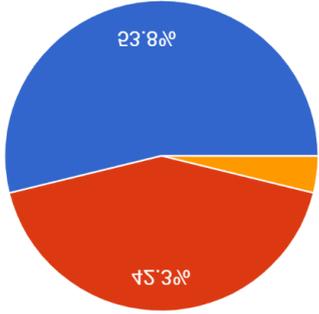
### I 評価結果

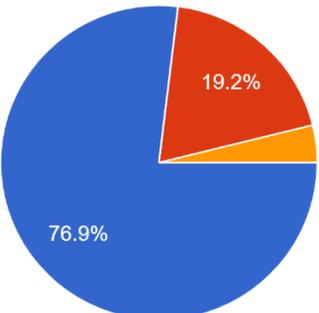
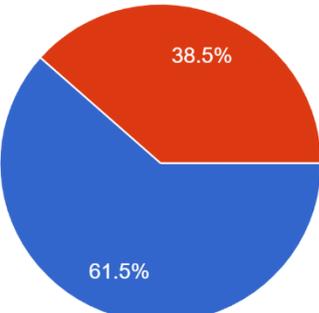
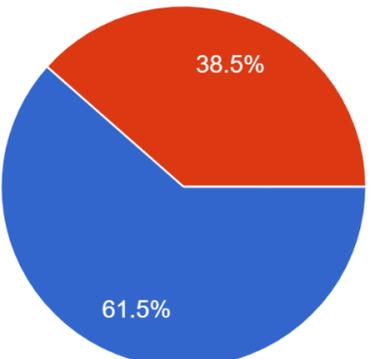
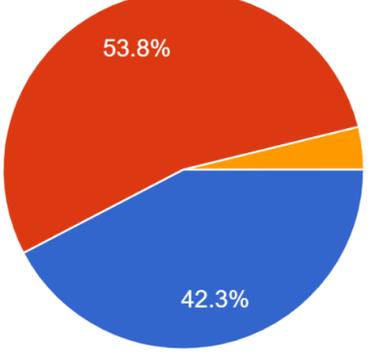
総務部		
<p>教務・教育課程</p> 	<p>教科用図書・公簿</p> 	<p>交流教育</p> 
<p>今年度：3.4 前年度：3.5</p>	<p>今年度：3.5 前年度：3.7</p>	<p>今年度：3.3 前年度：3.5</p>
<p>人権同和教育</p> 	<p>情報・視聴覚教育</p> 	<p>● A：達成 ● B：ほぼ達成 ● C：あまり達成されていない ● D：達成されていない(未取組)</p>
<p>今年度：3.3 前年度：3.7</p>	<p>今年度：3.3 前年度：3.5</p>	
教育実習部		研究部
<p>教育実習</p> 	<p>研究部</p> 	<p>● A：達成 ● B：ほぼ達成 ● C：あまり達成されていない ● D：達成されていない(未取組)</p>
<p>今年度：3.3 前年度：3.4</p>	<p>今年度：3.0 前年度：3.3</p>	

支援部		
校内支援①個別の教育支援計画・個別の指導計画	校内支援②関係機関との連携及び校内教育支援委員会	校外支援①校外支援に関する業務
		
今年度：3.0 前年度：3.0	今年度：3.0 前年度：3.3	今年度：3.4
校外支援②入学者選考委員会・学校見学会・体験学習		
		
今年度：3.5		
自立活動部	進路指導部	
自立活動	進路指導	卒業生支援
		
今年度：3.3 前年度：3.3	今年度：3.6 前年度：3.5	今年度：3.4 前年度：3.5
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● A：達成</li> <li>● B：ほぼ達成</li> <li>● C：あまり達成されていない</li> <li>● D：達成されていない(未取組)</li> </ul>

生徒指導部		
生活・読書指導	学校行事	児童生徒会
		
今年度：3.5 前年度：3.4	今年度：3.6 前年度：3.5	今年度：3.5 前年度：3.5

保健指導部	
保健・給食指導	安全・環境整備
	
今年度：3.5 前年度：3.6	今年度：3.3 前年度：3.3
体育指導	
	
今年度：3.5 前年度：3.3	

渉外部	
広報・渉外	P T A
	
今年度：3. 5 前年度：3. 6	今年度：3. 5 前年度：3. 6

分掌その他	
厚生部	一心会・明伸会
	
今年度：3. 7 前年度：3. 7	今年度：3. 6 前年度：3. 3
学校評価委員会	教職大学院
	
今年度：3. 6 前年度：3. 5	今年度：3. 4 前年度：3. 4

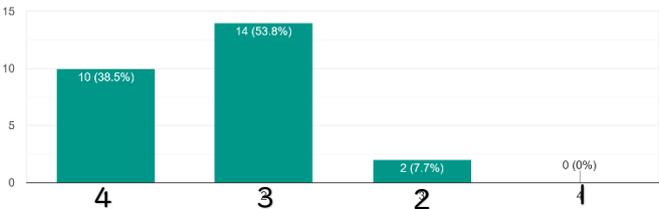
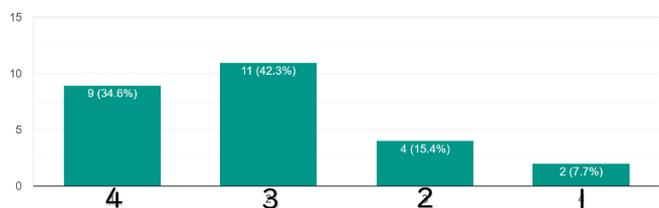
### Ⅲ その他

#### Ⅰ 評価結果(回答数 26, 回収率 100%)

	平均値	質問項目	結果 4 思う 3 まあまあ思う 2 余り思わない 1 思わない															
Ⅰ 学校全体	3.5 (3.6)	ア 職員会議は計画的に実施され、適切な審議がなされている。	<table border="1"> <tr><th>評価</th><th>人数</th><th>割合</th></tr> <tr><td>4</td><td>14</td><td>53.8%</td></tr> <tr><td>3</td><td>9</td><td>30.8%</td></tr> <tr><td>2</td><td>3</td><td>11.5%</td></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>3.8%</td></tr> </table>	評価	人数	割合	4	14	53.8%	3	9	30.8%	2	3	11.5%	1	1	3.8%
	評価	人数	割合															
	4	14	53.8%															
	3	9	30.8%															
	2	3	11.5%															
	1	1	3.8%															
3.6 (3.7)	イ 運営委員会では、必要な事項が十分に審議されている。(運営対象者のみ)	<table border="1"> <tr><th>評価</th><th>人数</th><th>割合</th></tr> <tr><td>4</td><td>4</td><td>15.4%</td></tr> <tr><td>3</td><td>15</td><td>57.7%</td></tr> <tr><td>2</td><td>7</td><td>26.9%</td></tr> <tr><td>1</td><td>0</td><td>0%</td></tr> </table>	評価	人数	割合	4	4	15.4%	3	15	57.7%	2	7	26.9%	1	0	0%	
評価	人数	割合																
4	4	15.4%																
3	15	57.7%																
2	7	26.9%																
1	0	0%																
3.4 (3.5)	ウ カリ・マネ委員会では、必要な事項が十分に審議されている。(対象者のみ)	<table border="1"> <tr><th>評価</th><th>人数</th><th>割合</th></tr> <tr><td>4</td><td>12</td><td>46.2%</td></tr> <tr><td>3</td><td>12</td><td>46.2%</td></tr> <tr><td>2</td><td>1</td><td>3.8%</td></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>3.8%</td></tr> </table>	評価	人数	割合	4	12	46.2%	3	12	46.2%	2	1	3.8%	1	1	3.8%	
評価	人数	割合																
4	12	46.2%																
3	12	46.2%																
2	1	3.8%																
1	1	3.8%																
3.5 (3.5)	エ 自分にとって公務上必要な情報が適切に伝達されている。	<table border="1"> <tr><th>評価</th><th>人数</th><th>割合</th></tr> <tr><td>4</td><td>10</td><td>38.5%</td></tr> <tr><td>3</td><td>13</td><td>50%</td></tr> <tr><td>2</td><td>3</td><td>11.5%</td></tr> <tr><td>1</td><td>0</td><td>0%</td></tr> </table>	評価	人数	割合	4	10	38.5%	3	13	50%	2	3	11.5%	1	0	0%	
評価	人数	割合																
4	10	38.5%																
3	13	50%																
2	3	11.5%																
1	0	0%																
3.3 (3.0)	オ 学校行事(年間, 月)は、適切に組まれている。	<table border="1"> <tr><th>評価</th><th>人数</th><th>割合</th></tr> <tr><td>4</td><td>15</td><td>57.7%</td></tr> <tr><td>3</td><td>9</td><td>34.6%</td></tr> <tr><td>2</td><td>1</td><td>3.8%</td></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>3.8%</td></tr> </table>	評価	人数	割合	4	15	57.7%	3	9	34.6%	2	1	3.8%	1	1	3.8%	
評価	人数	割合																
4	15	57.7%																
3	9	34.6%																
2	1	3.8%																
1	1	3.8%																
3.0 (2.8)	カ 学校の教育目標や重点目標について、具体的に説明できる。	<table border="1"> <tr><th>評価</th><th>人数</th><th>割合</th></tr> <tr><td>4</td><td>19</td><td>73.1%</td></tr> <tr><td>3</td><td>5</td><td>19.2%</td></tr> <tr><td>2</td><td>1</td><td>3.8%</td></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>3.8%</td></tr> </table>	評価	人数	割合	4	19	73.1%	3	5	19.2%	2	1	3.8%	1	1	3.8%	
評価	人数	割合																
4	19	73.1%																
3	5	19.2%																
2	1	3.8%																
1	1	3.8%																

	3.2 (3.5)	キ 学校の年間指導計画を活用して、指導や支援の充実を図っている。	<table border="1"> <tr><th>Rating</th><th>Count</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>4</td><td>9</td><td>34.6%</td></tr> <tr><td>3</td><td>15</td><td>57.7%</td></tr> <tr><td>2</td><td>1</td><td>3.8%</td></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>3.8%</td></tr> </table>	Rating	Count	Percentage	4	9	34.6%	3	15	57.7%	2	1	3.8%	1	1	3.8%
	Rating	Count	Percentage															
	4	9	34.6%															
3	15	57.7%																
2	1	3.8%																
1	1	3.8%																
3.4 (3.4)	ク 学校の教育課程全体で、組織的に児童生徒を育てていくように意識している。	<table border="1"> <tr><th>Rating</th><th>Count</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>4</td><td>14</td><td>53.8%</td></tr> <tr><td>3</td><td>10</td><td>38.5%</td></tr> <tr><td>2</td><td>1</td><td>3.8%</td></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>3.8%</td></tr> </table>	Rating	Count	Percentage	4	14	53.8%	3	10	38.5%	2	1	3.8%	1	1	3.8%	
Rating	Count	Percentage																
4	14	53.8%																
3	10	38.5%																
2	1	3.8%																
1	1	3.8%																
3.0 (3.0)	ケ 目指す教育活動のために、学校全体で実施される会議等において積極的に発言するようにしている。	<table border="1"> <tr><th>Rating</th><th>Count</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>4</td><td>7</td><td>26.9%</td></tr> <tr><td>3</td><td>12</td><td>46.2%</td></tr> <tr><td>2</td><td>6</td><td>23.1%</td></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>3.8%</td></tr> </table>	Rating	Count	Percentage	4	7	26.9%	3	12	46.2%	2	6	23.1%	1	1	3.8%	
Rating	Count	Percentage																
4	7	26.9%																
3	12	46.2%																
2	6	23.1%																
1	1	3.8%																
2 学部・学級	3.5 (3.6)	ア 学部会は計画的に実施され、学部の運営は、工夫・改善されている。	<table border="1"> <tr><th>Rating</th><th>Count</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>4</td><td>14</td><td>53.8%</td></tr> <tr><td>3</td><td>8</td><td>30.8%</td></tr> <tr><td>2</td><td>3</td><td>11.5%</td></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>3.8%</td></tr> </table>	Rating	Count	Percentage	4	14	53.8%	3	8	30.8%	2	3	11.5%	1	1	3.8%
	Rating	Count	Percentage															
	4	14	53.8%															
	3	8	30.8%															
2	3	11.5%																
1	1	3.8%																
2.9 (3.2)	イ 学部内の仕事が公平（能力的・経験的）に分担されている。	<table border="1"> <tr><th>Rating</th><th>Count</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>4</td><td>4</td><td>15.4%</td></tr> <tr><td>3</td><td>15</td><td>57.7%</td></tr> <tr><td>2</td><td>7</td><td>26.9%</td></tr> <tr><td>1</td><td>0</td><td>0%</td></tr> </table>	Rating	Count	Percentage	4	4	15.4%	3	15	57.7%	2	7	26.9%	1	0	0%	
Rating	Count	Percentage																
4	4	15.4%																
3	15	57.7%																
2	7	26.9%																
1	0	0%																
3.3 (3.5)	ウ 学級のペア間で情報の連携が適切に行えている。	<table border="1"> <tr><th>Rating</th><th>Count</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>4</td><td>12</td><td>46.2%</td></tr> <tr><td>3</td><td>12</td><td>46.2%</td></tr> <tr><td>2</td><td>1</td><td>3.8%</td></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>3.8%</td></tr> </table>	Rating	Count	Percentage	4	12	46.2%	3	12	46.2%	2	1	3.8%	1	1	3.8%	
Rating	Count	Percentage																
4	12	46.2%																
3	12	46.2%																
2	1	3.8%																
1	1	3.8%																
3.3 (3.4)	エ 学級事務等は公平（能力的・経験的）に分担されている。	<table border="1"> <tr><th>Rating</th><th>Count</th><th>Percentage</th></tr> <tr><td>4</td><td>10</td><td>38.5%</td></tr> <tr><td>3</td><td>13</td><td>50%</td></tr> <tr><td>2</td><td>3</td><td>11.5%</td></tr> <tr><td>1</td><td>0</td><td>0%</td></tr> </table>	Rating	Count	Percentage	4	10	38.5%	3	13	50%	2	3	11.5%	1	0	0%	
Rating	Count	Percentage																
4	10	38.5%																
3	13	50%																
2	3	11.5%																
1	0	0%																

	3.5 (3.3)	オ 学級経営に係る仕事は工夫されている。	<table border="1"> <tr><th>Rating</th><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><th>Count</th><td>15</td><td>9</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><th>Percentage</th><td>57.7%</td><td>34.6%</td><td>3.8%</td><td>3.8%</td></tr> </table>	Rating	4	3	2	1	Count	15	9	1	1	Percentage	57.7%	34.6%	3.8%	3.8%
	Rating	4	3	2	1													
Count	15	9	1	1														
Percentage	57.7%	34.6%	3.8%	3.8%														
3.6 (3.7)	カ 同僚と共に、児童生徒の成長を伝え合い、喜びを共有している。	<table border="1"> <tr><th>Rating</th><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><th>Count</th><td>19</td><td>5</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><th>Percentage</th><td>73.1%</td><td>19.2%</td><td>3.8%</td><td>3.8%</td></tr> </table>	Rating	4	3	2	1	Count	19	5	1	1	Percentage	73.1%	19.2%	3.8%	3.8%	
Rating	4	3	2	1														
Count	19	5	1	1														
Percentage	73.1%	19.2%	3.8%	3.8%														
3 授業	3.3 (3.3)	ア 授業研究等(授業研究会・授業ミーティング)は効果的に活用されている。	<table border="1"> <tr><th>Rating</th><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><th>Count</th><td>11</td><td>12</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><th>Percentage</th><td>42.3%</td><td>46.2%</td><td>7.7%</td><td>3.8%</td></tr> </table>	Rating	4	3	2	1	Count	11	12	2	1	Percentage	42.3%	46.2%	7.7%	3.8%
	Rating	4	3	2	1													
	Count	11	12	2	1													
Percentage	42.3%	46.2%	7.7%	3.8%														
3.3 (3.3)	イ 学校研究や教育実習で行っている授業づくりに関する取組は、学校努力点に対し効果的に働いている。	<table border="1"> <tr><th>Rating</th><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><th>Count</th><td>10</td><td>13</td><td>3</td><td>0</td></tr> <tr><th>Percentage</th><td>38.5%</td><td>50%</td><td>11.5%</td><td>0%</td></tr> </table>	Rating	4	3	2	1	Count	10	13	3	0	Percentage	38.5%	50%	11.5%	0%	
Rating	4	3	2	1														
Count	10	13	3	0														
Percentage	38.5%	50%	11.5%	0%														
3.3 (3.5)	ウ 主体的に学習に取り組む態度など、観点別の評価や授業づくりに取り組んでいる。	<table border="1"> <tr><th>Rating</th><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><th>Count</th><td>10</td><td>14</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><th>Percentage</th><td>38.5%</td><td>53.8%</td><td>3.8%</td><td>3.8%</td></tr> </table>	Rating	4	3	2	1	Count	10	14	1	1	Percentage	38.5%	53.8%	3.8%	3.8%	
Rating	4	3	2	1														
Count	10	14	1	1														
Percentage	38.5%	53.8%	3.8%	3.8%														
4 個人	3.1 (2.9)	ア 個人で自分なりにテーマを持ち研究を進めている。	<table border="1"> <tr><th>Rating</th><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><th>Count</th><td>9</td><td>11</td><td>6</td><td>0</td></tr> <tr><th>Percentage</th><td>34.6%</td><td>42.3%</td><td>23.1%</td><td>0%</td></tr> </table>	Rating	4	3	2	1	Count	9	11	6	0	Percentage	34.6%	42.3%	23.1%	0%
	Rating	4	3	2	1													
Count	9	11	6	0														
Percentage	34.6%	42.3%	23.1%	0%														
2.8 (2.6)	イ 担当している部や係などの仕事は負担なく取り組んでいる。	<table border="1"> <tr><th>Rating</th><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><th>Count</th><td>7</td><td>10</td><td>7</td><td>2</td></tr> <tr><th>Percentage</th><td>26.9%</td><td>38.5%</td><td>26.9%</td><td>7.7%</td></tr> </table>	Rating	4	3	2	1	Count	7	10	7	2	Percentage	26.9%	38.5%	26.9%	7.7%	
Rating	4	3	2	1														
Count	7	10	7	2														
Percentage	26.9%	38.5%	26.9%	7.7%														

<p>3.3 (3.3)</p>	<p>ウ 学習指導要領改訂など，教育 施策の動向に感心をよせ，学ぶ ようにしている。</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Rating</th> <th>Count</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>10</td> <td>38.5%</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>14</td> <td>53.8%</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2</td> <td>7.7%</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>0</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	Rating	Count	Percentage	4	10	38.5%	3	14	53.8%	2	2	7.7%	1	0	0%
Rating	Count	Percentage															
4	10	38.5%															
3	14	53.8%															
2	2	7.7%															
1	0	0%															
<p>3.0 (3.1)</p>	<p>エ 立場や役割に応じて，リー ダーシップを発揮している。</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Rating</th> <th>Count</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>9</td> <td>34.6%</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>11</td> <td>42.3%</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4</td> <td>15.4%</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>7.7%</td> </tr> </tbody> </table>	Rating	Count	Percentage	4	9	34.6%	3	11	42.3%	2	4	15.4%	1	2	7.7%
Rating	Count	Percentage															
4	9	34.6%															
3	11	42.3%															
2	4	15.4%															
1	2	7.7%															

#### IV 保護者アンケート

##### I 評価結果(回答数 54, 回収率 96%)

※4件法(A:達成, B:ほぼ達成, C:あまり達成されていない, D:達成されていない)でアンケートを実施した。Aから順に4点, 3点, 2点, 1点と得点化し, それぞれ平均値を算出した。

	質問項目	全体平均		
		R4	R5	R6
教育活動	① 学校・学部・学級の教育方針や教育目標に添った取組がなされている。	3.6	3.6	3.7
	② 子どもたちの実態や課題に応じた授業が行われている。	3.6	3.6	3.5
	③ 子どもたちの実態に応じた特色ある学校・学部行事が行われている。	3.7	3.6	3.8
	④ 連絡帳や学級通信等は, 学校や授業での取組をよく伝えてある。	3.7	3.7	3.7
	⑤ 通知表「あゆみ」は見やすく, 子どもの成長や課題をよく伝えてある。	3.8	3.8	3.7
	⑥ 個別の教育支援計画による教育方針は, 分かりやすい。	3.7	3.7	3.7
教育環境	⑦ 学校は, 子どもをよく理解し, 真剣に対応している。	3.7	3.7	3.8
	⑧ 学校は, 保護者の悩みや相談に親身に対応している。	3.6	3.6	3.7
	⑨ 充実した教育活動を行う施設や設備が整っている。	3.1	3.1	3.1
	⑩ 校舎や教室などの清掃や片付けが行き届いている。	3.3	3.2	3.3
	⑪ 危険箇所などへの安全配慮がなされている。	3.4	3.3	3.4
連携	⑫ 学校と家庭は, 子どもの目標に協力して取り組んでいる。	3.6	3.6	3.6
	⑬ 学校と家庭は, 日常的に連絡を取り合っている。	3.7	3.7	3.7
	⑭ 学校は, 保護者の研修やPTA活動に対しての協力・協働をしている。	3.7	3.6	3.8
	⑮ 学校は, 関係機関と連携を図り, 必要な情報を保護者と共有している。	3.5	3.6	3.6
その他	⑯ PTA活動は, PTA会員の意思を反映し, 計画的に行われている。	3.5	3.4	3.3
	⑰ 子どもは, 毎日楽しく登校している。	3.8	3.9	3.7
	⑱ 子どもたちの成長を感じている。	3.8	3.8	3.8

